



JUNBA 理事会(第 162 回)議事次第

日 時:令和4年5月26日(木)15:30-16:30

場 所:オンライン

出席者:

【理事】奈良先端科学技術大学院大学(三宅会長)、名古屋大学(神山副会長)、
大阪大学(Scott 理事)、桜美林大学(丸山理事)、

【アドバイザー】サンフランシスコ総領事館(黒川領事)

【事務局】日本学術振興会(中別府事務局長、太田副センター長、橘、安藤、遠藤、Abigail)

【オブザーバー】名古屋大学(岡田)、大阪大学(東澤)、東京理科大学(熊谷)、
Institute of Quantum BioFrontiers(千田)

1. 第 161 回 JUNBA 理事会議事要旨の承認について【資料 1】

議事に先立ち、資料 1 に基づき、第 161 回理事会議事要旨案を了承した。

2. 議題

(1) 第 16 回総会の開催について【資料 2】

事務局から資料 2 に基づき、総会の開催日時、議事次第案及び資料案について説明があった後、諮られ、審議の結果、了承された。

(2) 令和 4 年度 JUNBA 勉強会について【資料 3-1、3-2】

事務局及び前回欠席の名古屋大学から、資料 3-1 及び 3-2 に基づき、説明があった後、勉強会のテーマ案及び令和 4 年度勉強会の開催概要について意見交換が行われた。

なお、テーマ案については、引き続き、次回理事会においても検討する旨、了承された。

主な意見

テーマ1「交換留学の再開における課題について」については、既に米国側での交換留学の受け入れ等が再開しているため、9月の勉強会で扱うテーマとしては機を逸してしまう可能性があるのではないか。

桜美林大学においては、円安及び物価高騰、コロナ禍における PCR 検査等の対応が学生の負担になっている。

名古屋大学においては、8月末から9月末までノースカロライナ州立大学において、5週間のプログラムを作成し、21名が参加予定である。

当初、授業料\$6,000 及び交通費\$2,000 が見込まれたため、ノースカロライナ州立大学における Professional Education Program を使用せず、寮のみ使用させてもらい、講師集め及び交通機関に至るまで、名古屋大学において設計し、授業料\$3,500 及び交通費\$2,000 にて設計した。

以上のことを受けて、日本から米国へくる学生向けプログラムをどれだけ効率的に安く設計するかという点については、名古屋大学において関心の高い事項といえる。

現在、大阪大学では、UCSD、UCB との関係強化を図っており、大学経営における収益化という観点から、Extension の活用に関心が集まっている。大学経営にける収益化は各大学が抱える課題であり、勉強会のテーマとして取り扱うのは良いのではないか。

名古屋大学においては、卓越研究大学の採択に向けて、ガバナンスの強化、研究力の強化、事業成長 3%を図り、特に事業成長の観点から、共同研究、知的財産の特許申請、スタートアップのエクイティ取得に着目してきた。

近年、UCSD、UCB にみられる Extension に着目しており、学位を出さないプログラム設計であることから、日本においては、法律における学費の定めに該当せず、より高額な授業料の設定が可能というメリットも見込まれる。学生数が減少する中、リカレント教育によるマネタイズは各大学にとって重要なテーマになるのではないか。

米国のランドグラント大学と旗艦大学における州政府、州民との関係性やビジネス構造について、勉強会のテーマとして取り扱うのはどうか。

JUNBA 勉強会の強みとして、現地情報の発信があげられる。

また、JUNBA 会員獲得の観点から、勉強会テーマを考えると、卓越研究大学、10 兆円ファンド等、各大学の理事、学長、副学長クラスにとって関心のある内容と、米国における留学プログラムの設計等、実務担当者にとって関心のある内容を年 2 回の勉強会でそれぞれ取り扱うのが良いのではないか。

現在検討しているテーマ案に基づくと、講師の言語は英語となることが見込まれるため、同時通訳、オンライン通訳、撮影した動画に後日キャプションをつけて共有する等検討が必要になることが見込まれる。

また、今後のスケジュールについては、6 月にテーマを確定し、7 月に勉強会のアナウンスをする方向で検討してはどうか。

3. 報告事項

(1)各拠点からの令和 4 年度の活動報告について【資料 4】

事務局から、資料 4 に基づき、報告があった。

その後、黒川領事から、資料 4 に基づき、在サンフランシスコ日本国総領事館からの共有事項について報告があった。

(2)その他
特になし。

《配布資料》

【資料 1】第 161 回 JUNBA 理事会議事要旨(案)

【資料 2】第 16 回 JUNBA 総会資料

【資料 3-1】令和 4 年度 JUNBA 勉強会テーマ(案)

【資料 3-2】令和 4 年度 JUNBA 勉強会の実施にかかる検討事項

【資料 4】2022 年度 JUNBA 活動計画表

次回理事会の日程:令和 4 年 6 月 23 日(木)15 時 30 分～(PST)、24 日(金)7 時 30 分～(JST)